

# 令和4年度議会報告会

## 議長挨拶



議長 寺田 幹根

- 1 令和4年台風第15号への対応
- 2 新型コロナウイルス感染症への対応
- 3 議会のICTの取組について
- 4 今後の課題への対応



日頃より、磐田市議会に対し格別のご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。令和4年度議会報告会の映像配信にあたり、最近の議会の取組のご紹介を兼ねご挨拶を申し上げます。

# 1 令和4年台風第15号への対応

## ■令和4年台風第15号（令和4年9月23日発災）

○市当局「災害対策本部体制Ⅰ」

⇒「**磐田市議会業務継続計画(議会BCP)**」発動

… 災害等の発生時においても議会の機能を維持していくため、  
必要な組織体制や議会・議員の役割を定めている

### 【具体的な対応】

○議会運営委員会で今後の議会運営を検討

✓委員会審査を1週間程度先送り

✓当日審査を終了できなかった場合の  
対応を決定

初めに、去る9月23日（金）に発生した令和4年台風第15号に伴う大雨により被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。この災害に、市当局が「災害対策本部体制Ⅰ」の配備体制を敷いたことから、議会としましては、一般災害・風水害としては初めて、令和3年10月に策定した「磐田市議会業務継続計画」(議会BCP)」を発動し、対応しました。

具体的には、発災当時は、9月定例会会期中であり、週明けには委員会審査が行われることとなっていたことから、議会BCPに基づき、議会運営委員会を急遽開催し、検討を進めました。本会議は開会できると見込まれたことから、議会運営委員会では、委員会審査の扱いについて検討し、まずは委員会審査の日程を1週間程度先送りしたうえで、さらに、当日審査を終了することができなかった場合には、閉会中の委員会継続審査とすることもやむを得ないとの結論になり、この結論に基づきその後の議会運営を進めました。

議会BCPを策定していたことにより、今回の被災に対する議会運営は、検証が必要ではあるものの、判断時点では適切に対応できたものと考えています。

## 2 新型コロナウイルス感染症への対応

### ■議会の対応

- 行政視察を含む議会活動や議員活動、傍聴の受入の検討  
⇒ 静岡県発表の新規陽性者数や感染状況、  
医療ひっ迫状況を参考



- 「磐田市議会災害等対策会議」の設置
  - ✓感染状況やワクチン接種関係を  
災害等対策会議で集中的に質問・要望
  - ✓収束するまで当面継続

次に、今般の新型コロナウイルス感染症への議会の対応についてですが、磐田市議会では、行政視察を含む議会活動や議員活動、傍聴の受入れなどの新型コロナウイルス感染症にかかる議会の対応については、静岡県発表の新規陽性者数や新型コロナウイルスの感染状況や医療ひっ迫状況を参考に検討しています。検討にあたっては、必要に応じて2人以上の会派の代表で構成される会派代表者会議で協議し、決定しています。

また、新型コロナウイルス感染症を市域内に大規模な災害若しくは被害を及ぼす事案ととらえ、新型コロナウイルス感染症を事由とした「磐田市議会災害等対策会議」を設置しております。

この会議は、市から災害等の状況について報告を受け、議員に情報を提供すること等を目的としており、新型コロナウイルス感染症に関する質問は、定例会の一般質問等では行わず、この会議を通じて行うこととしています。

質問は、文書で提出し、当局へ回答を求めます。当局からの回答は全議員へお知らせをすることにしています。

この会議は、新型コロナウイルス感染症が収束するまで、当面継続することとしております。

# 3 議会のICTの取組について

## ■全議員にタブレット端末を導入

### ○本会議・委員会

- ✓令和4年2月定例会にて試行、  
6月定例会から本格運用開始
- ✓議案をタブレット端末に掲載

⇒ オンラインにより常任委員会が開催できるよう、  
9月定例会において「磐田市議会委員会条例」を改正



### ○議員研修・行政視察

- ✓オンラインによる先進地視察や議員研修の開催

⇒ コロナ禍においても、  
継続して調査研究を実施

次に、議会のICTの取り組みについてご説明します。

令和3年度に新型コロナウイルス感染症への対応の一環として議員全員にタブレット端末を導入しました。これは災害等の際に議員全員が一か所に集まらなくても議論ができる環境を作るためでもあります。効率的な情報伝達や議会運営を行うことができるよう活用しています。

本会議や委員会での活用としては、令和4年2月定例会において試行的に持ち込みを認め、6月定例会からは本格的に運用を開始しました。これに伴い、議案をタブレット端末にデータ配信し、併せて市議会ホームページに掲載を開始いたしました。

また、これに関連し、9月定例会において「磐田市議会委員会条例」を改正し、オンラインにより常任委員会が開催できるようにしました。

また、この他のタブレット活用事例として、オンラインによる先進地視察や議員研修を開催し、コロナ禍においても調査研究を継続実施しています。



## 4 今後の課題への対応

### ■新たに発生するであろう課題への対応

○「**磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会**」の設置

⇒ 持続可能な磐田市に向けた検討

議会としての責務を果たす



また、議会として、現況や既存の課題への対応に加え、新たに発生するであろう課題への対応が求められています。

その一端として、詳細は、後に報告がありますが、「磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会」を設置し、持続可能な磐田市に向けた検討をはじめているところです。

最後になりますが、皆さまにはこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願いいたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。